

2016 年度

事業報告書

自 2016 年 4 月 1 日

至 2017 年 3 月 31 日

公益財団法人北九州国際交流協会

2016年度 事業報告書

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の3つの分野における事業を実施した。

1 外国人市民支援事業

(1) 多言語による生活情報の提供

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体や機会を利用して提供した。

① 外国人市民への情報提供

タイムリーな情報発信として、日本語、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語でのメールマガジンを発行した。

メールマガジン登録者数：日本語417人、英語90人、中国語55人
韓国語20人、やさしい日本語54人 合計：636人

② ホームページによる広報

多言語（日本語・英語・中国語・韓国語・やさしい日本語）のホームページを活用して、最新のイベント情報や生活情報、協会事業や県内の国際交流など外国人市民への情報提供を行った。

アクセス数：日本語24,109件、英語2,469件、中国語991件、
韓国語795件、やさしい日本語748件 合計29,112件

(2) コミュニケーション支援事業

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会において孤立することなく、日本人と共生できるように支援を行った。また、日常生活の上で発生した悩みや課題を、専門家と協力しながら解決に向けての支援を行った。

① 外国人相談

ア 専門家相談

*入国・在留・国籍手続き相談

福岡県行政書士会と共催で月に1回開催した。

相談件数：30件

*法律相談

福岡県弁護士会北九州部会の協力のもと月に1回開催した。

相談件数：9件

*心理カウンセリング

臨床心理士による相談会を随時開催した。

相談件数：2件

イ 外国人インフォメーションセンターにおける一般相談

外国語相談員を3名増員して外国人相談体制を強化し、八幡西区及び小倉北区の2か所において、外国語相談員が日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語での相談業務や情報提供を実施した。

これにより、火曜日から金曜日までの全日の日・英・中・韓4言語すべての対応と、週1日のベトナム語相談が可能となった。相談内容によって前記の専門家相談へつなぐことで課題解決への一助となった。

相談人数：832人 相談件数：1,148件

ウ 相談員による電話通訳の実施 《新事業：2016年12月から実施》

市役所・区役所・学校等の関係機関と日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民との間の電話通訳サービスを開始した。

対応言語：英語・中国語・韓国語・ベトナム語 ※ベトナム語は火曜のみ
対応日時：火曜～金曜 10:00～16:00 件数：12件

エ 北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催

外国人支援に関わる関係者の情報交換会を開催し、各立場での状況や内容について意見交換を行うことで関係機関の緊密な関係を築き、外国人の抱える課題や傾向について情報共有を行った。

開催日：10月19日（水）、2月22日（水）

会場：八幡西生涯学習総合センター 会議室

構成員：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、教育委員会、戸籍住民課、子育て支援課、保健福祉課、保健師、男女共同参画センター、外国語相談員 等

② 行政通訳派遣

北九州市の委託を受けて、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人市民のために、区役所や学校等に行政通訳者や多言語ママパパサポーターを無料で個別派遣した。

派遣件数合計：85件 派遣者数合計：105人

ア 行政通訳派遣（北九州市からの受託事業）

北九州市の組織や学校等または外国人市民からの依頼により、行政通訳者を派遣した。

派遣件数：69件 派遣者数：75人

言語：中国語37人、英語22人、ベトナム語5人、タガログ語5人
タイ語2人、インドネシア語2人、韓国語1人、モンゴル語1人

内 容：子育て支援①子供関係・・・28件(28人)
(学校・保育所・児童相談所・福祉施設《障害者支援含む》)
子育て支援②母関係・・・25件(25人)
(保健師等の妊産婦訪問指導、離乳食・マタニティ室等)
介護保険、老人保健福祉・・・11件(11人)
区役所・市役所・・・5件(11人)

イ 多言語ママパパサポーター派遣（北九州市からの受託事業）

医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住宅等に「多言語ママパパサポーター」として通訳者を派遣した。

派遣件数：11件 派遣者数：18人

言 語：中国語7人、英語5人、タガログ語2人、タイ語2人、
ベトナム語1人、インドネシア語1人

内 容：病院（市公費助成妊婦・乳幼児等無料検診）・・・5件(5人)
子育て支援機関（日本語教室、児童福祉施設等）・6件(13人)

ウ 受託外派遣

市からの受託以外に、協会事業等に行政通訳者を派遣した。

派遣件数：5件 派遣者数：12人

内容：中国帰国者事業、多文化共生の地域づくりの担い手の育成・支援事業
G7エネルギー担当大臣会合

③ 医療通訳派遣

日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民が安心して医療機関を受診できるように、医療通訳者を医療機関等へ派遣した。11月には、個人病院やクリニックでも利用が可能な登録制度を開始し、外国人市民にもかかりつけ医に行く初診の段階からの対応が可能となった。また、制度周知を図るため無料お試しキャンペーンを実施した。

派遣件数：23件 派遣人数：22人

言 語：中国語13人、英語6人、韓国語3人

診 療 科：外科7件、精神科5件、産婦人科4件、内科2件、
小児科2件、皮膚科1件、眼科1件、胃腸科1件

※ 上記のうち5件（5名）は、市公費助成妊婦・乳幼児等無料検診のため、「多言語ママパパサポーター」として派遣。

④ 外国人市民への防災支援

ア 外国人市民対象の防災講習会

日本語でのコミュニケーションが難しく、かつ災害に関する知識や経験があまりない市内在住外国人市民を対象に、日本で起こる災害や緊急時の対策について基本的な知識を学ぶ講習会を実施した。

＊第1回

開催日：11月17日（木）

場 所：コムシティ7F（子どもの館 会議室）

内 容：講義「災害の種類とメカニズム」「避難方法と防災対策グッズ」
実践「119番通報練習（日本語での救急車、消防車の要請練習）」
災害用語レッスンと防災対策

講 師：八幡西消防署予防課

参加者数：15人（7か国） 通 訳：英語、タイ語 各1人

＊第2回

開催日：11月18日（金）

場 所：こくらAIMビル3F（子育てふれあい交流プラザ）

内 容：講義「避難方法」
実践「119番通報練習」「消火器の使い方」

協 力：小倉北消防署予防課

参加者数：8人（4か国） 通 訳：英語、中国語 各1人

＊第3回

開催日：3月4日（土）

場 所：福岡市民防災センター

内 容：災害時疑似体験（消火、地震、強風、火災時避難等）

参加者数：34人（7カ国）

イ 災害時通訳サポーターのフォローアップ

日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象に2回のフォローアップ研修を行った。

＊第1回

開催日：11月19日（土）

場 所：八幡西生涯学習総合センター 会議室

講 師：北九州市立精神保健福祉センター 職員2名（保健師、臨床心理士）

内 容：「災害時のこころのケア」
避難所での逐次通訳ロールプレイ、意見交換

参加者数：15人（英語、中国語、韓国語）

＊第2回

開催日：2月25日（土）

場 所：八幡西生涯学習総合センター 会議室

講 師：一般財団法人熊本市国際交流財団 事務局長 八木浩光

内 容：「熊本地震の外国人支援を振り返って」
災害情報翻訳練習

参加者数：25人（英語、中国語、韓国語）

ウ 防災に関する啓発ツールの配布

日本での防災対策として、多言語による緊急時の連絡先や発信される言葉についての啓発ツールを配布した。

(配布したツール) ※平成27年度までに作成したもの

*多言語防災啓発シール *防災啓発手ぬぐい *避難所指さし会話帳

⑤ 外国人子ども支援

外国につながるのある児童生徒を対象に、学習支援の場として「放課後にほんごひろば」及び「夏休みにほんごひろば」を実施した。

ア 放課後にほんごひろば

外国につながるのある児童生徒を対象に、教科学習や宿題のサポートを行う教室を市内2ヶ所で実施した。

【小倉】開催場所：小倉中央市民センター

開催期間：5月～3月 毎週火曜日 16:00～18:30

開催回数：36回 学習者のべ人数：138人

学生ボランティアのべ人数：6人

参加者の国籍：スリランカ、韓国、中国、モロッコ、台湾

【八幡】開催場所：北九州市立医生丘市民センター

開催期間：5月～3月 毎週水曜日 16:00～17:30

開催回数：35回 学習者のべ人数：103人

学生ボランティアのべ人数：5人

参加者の国籍：インドネシア

イ 夏休みにほんごひろば

夏休み期間中に集中して苦手な教科を勉強したい、夏休みの宿題をひとりで終わらせるのが難しいという外国人児童生徒や、国際結婚による多文化家族の児童生徒を対象に学習支援教室を実施した。

開催場所：北九州市立医生丘市民センター

開催期間：7月27日(水)、28日(木)、8月18日(木)、
19日(金) 計4回 10:00～12:00

学習者のべ人数：19人

参加者の国籍：インドネシア

ウ 中学卒業年齢以上の青少年のための日本語学習支援 《新事業》

中学卒学齢以上で来日し、小中学校における教育委員会の外国人児童・生徒に対する支援が受けられない青少年に対し、高校進学や就業を目指すエンパワメント事業として、集中的に学習できる日本語学習支援教室を実施した。

開催場所：北九州市立小倉中央市民センター

開催期間：9月～3月 毎週火曜日 10:00～15:00

開催回数：25回 学習者のべ人数：52人

参加者の国籍：フィリピン

⑥ 生活者としての日本語学習支援

ア ママとパパのためのにほんご教室（生活日本語コース）

主に子育て中の外国人住民を対象に、生活に必要な日本語や生活情報を提供する場として市内2ヶ所で教室を実施した。

【黒崎】開催場所：北九州市立子どもの館

開催期間：4月14日～3月16日、毎週木曜日 10:30～12:00

開催回数：43回 参加者数：のべ418人

参加者国籍：中国、フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、タンザニア、カナダ、台湾

【小倉】開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ

開催期間：4月15日～3月17日、毎週金曜日 10:30～12:00

開催回数：42回 参加者数：のべ276人

参加者国籍：中国、韓国、台湾、フィリピン、タイ、ベトナム、カナダ、ケニア、ルーマニア、インド、モロッコ

※ 日本語学習のほか、各団体の連携を得て両教室で防災や公共交通機関の利用方法等、随時生活情報の授業を行った。また、日本語コーディネーターが参加申請者のインタビューを行い、各学習者のバックグラウンドと明確な日本語学習の目的を把握することにより、生活支援も含めたきめ細かな指導や対応にあたった。

イ ママとパパのためのにほんご教室（ゼロビギナークラス） 《新事業》

上記アのうち、ママとパパのためのにほんご教室（生活日本語コース）での学習を希望するものの、全く日本語に触れたことがなく他の学習者と一緒に学習することが困難な学習者に対応するため、一定期間の個別対応により、基本的なひらがなやカタカナ等を習得して（生活日本語コース）で学習できるレベルを目標とする（ゼロビギナークラス）を随時実施した。

ウ 生活者としての外国人を対象とした「日本語おしゃべり発表会」の開催

外国人住民が、年齢、在留資格、日本語レベル等を問わずに参加できる発表会を開催した。出場者は、多様な分野・視点から個々の日本語で発表することで日本語学習のモチベーションに繋げるとともに、日本人住民にとっては、地域に住む外国人の声を聞く機会とした。

企画・運営にあたっては、ボランティアによる地域日本語教室の有志や市民参加による実行委員会を立ち上げ、北九州市内とその近郊に広く発表者を募り、市民の観覧を呼びかけることで、国際理解と多文化共生啓発を図った。

開催日：1月29日（日）14:00～17:30

開催場所：北九州市立子どもの館 子どもホール

発表者数：30人

出身国：韓国、中国、インドネシア、ベトナム、米国、フィリピン、
ネパール、タイ、カナダ、ミャンマー
来場者数：250人 実行委員数：16人
実行委員会：全5回（10月～1月）

⑦ 地域日本語教室との連携

地域の日本語教室を支援するため、市内日本語教室リストを作成し区役所等で配布するとともに、協会のホームページにおいても情報提供を行った。

また、今後の支援に向け、日本語コーディネーターが市内の地域日本語教室を訪問して運営視察及びヒアリングを実施した。

⑧ 外国人日本語学習者へのエンパワメント支援

ア ママとパパのためのほんご教室（日本語集中コース） 《新事業》

今年度から、より集中して日本語レベルの向上のための学習を希望する外国人のために、就業や社会参画に繋げるためのエンパワメント支援の一環として、語彙・文法等日本語能力の向上に特化した日本語集中コースを立ち上げ支援を強化した。

【黒崎】開催場所：北九州市立子どもの館

開催期間：5月26日～3月16日、毎週木曜日 13:00～14:30
開催回数：38回（4シリーズ） 参加者数：のべ79人
参加者国籍：中国、フィリピン、タイ、ベトナム

【小倉】開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ

開催期間：5月20日～3月17日、毎週金曜日 13:00～14:30
開催回数：39回（4シリーズ） 参加者数：のべ248人
参加者国籍：中国、韓国、台湾、フィリピン、ベトナム

⑨ 中国帰国者の交流支援（北九州市からの受託事業）

北九州市の委託を受け、中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会的自立がなされるように、日本語会話教室や交流会等を開催した。

ア 日本語会話教室「中国帰国者のための日本語おしゃべり広場」

開催日時：隔週1回程度 金曜日10:00～12:00
開催回数：20回 出席者のべ数：60人

イ 交流会

*第1回 研修バスツアー

開催日：12月7日（水）

内 容：アサヒビール博多工場見学 他

参加者数：11人（その他 通訳：1人、交流支援ボランティア：5人）

*第2回 春節交流会

開催日：2月11日（土）

場 所：八幡東生涯学習総合センター 会議室及び調理室

内 容：春節料理づくり（餃子等）及び交流会

参加者数：24人（その他 通訳：2人、交流支援ボランティア：3人）

2 行政・民間団体連携事業

(1) 民間団体の支援・連携推進事業

北九州市が進める国際施策の一翼を担うことができるよう、北九州地域の国際交流団体の活動の支援を行った。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

北九州地域の国際交流団体ネットワーク組織であるキーネットの加盟団体相互の情報交換等の活動を支援した。（63団体）

② 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦した。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、当協会が配信するメールマガジンに情報提供し広報支援等を行った。

表彰推薦：8件（うち受賞4件）

共 催：7件 後 援：21件

③ 地域日本語教室との連携（再掲）

地域の日本語教室を支援するため、市内日本語教室リストを作成し区役所等で配布するとともに、協会のホームページにおいても情報提供を行った。

また、今後の支援に向け、日本語コーディネーターが市内の地域日本語教室を訪問して運営視察及びヒアリングを実施した。

(2) 行政との連携推進事業

① 行政通訳派遣（再掲）

北九州市の委託を受け、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人市民のために、北九州市の組織や学校等または外国人市民からの依頼により、行政通

訳者を派遣した。また、医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住宅等に「多言語ママパパサポーター」として通訳者を派遣した。

② 外国人市民への防災支援（再掲）

北九州市の委託を受け、本語でのコミュニケーションが難しく、かつ災害に関する知識や経験があまりない市内在住外国人市民を対象に、日本で起こる災害や緊急時の対策について基本的な知識を学ぶ講習会を実施した。

また、日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象にフォローアップ研修を行った。

③ 中国帰国者の交流支援（再掲）

北九州市の委託を受け、中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会的自立がなされるように、日本語会話教室や交流会等を開催した。

④ 多文化共生の人材づくり（3-(5)-②に掲載）

教育委員会の委託を受け、ひとみらいプレイス関係団体と連携を図りながら、地域で暮らす日本人と外国人とが互いの違いを理解し双方の文化に触れながら、将来の多文化共生を担う人材育成を目指した事業を実施した。

3 グローバル人材育成事業

(1) 国際理解教育の推進事業

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進した。

① 国際理解教育講師の派遣・紹介（福岡県・福岡市協働事業）

異文化理解に関心を持つ市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学んでもらうため、小・中・高等学校や市民センター等へ外国人市民などを国際理解教育の講師として派遣する事業を福岡県、福岡市、北九州市の3協会の協働事業として実施した。

派遣先：北九州市内の小・中学校16校、その他5件

派遣講師数：41人

② 国際交流員派遣

国際交流員が講師となり、市民センターや学校等で、自国の生活や文化などを紹介することにより市民の異文化理解を促進した。

派遣件数：15件

期 日	派 遣 先	講 座 名
6月13日	筒井市民センター	E S D推進いきいきシニア塾
6月20日	周望学舎	国際情報コース「英国から見た日本」
7月13日	西門司市民センター	国際交流講座
7月15日	高須市民センター	生涯学習市民講座
7月20日	皇后崎公園いこいの家	熊西年長者ふれあいサロン
7月30日	中島市民センター	生涯学習市民講座
8月28日	ラボ・インターナショナル・ボランティア・リーダー	シェイクスピアワークショップ
9月13日	高須小学校	総合的学習「外国について調べよう」
11月1日	八幡西市民アカデミー	かがやき塾 ※CIR3名
12月14日	泉台市民センター	世界を知ろう②
12月18日	ラボ・インターナショナル・ボランティア・リーダー	クリスマス交流発表会
1月21日	熊西市民センター	たちばるわくわく塾
2月9日	八幡西区コミュニティ支援課	生涯学習推進コーディネーター研修会
3月1日	泉台市民センター	世界を知ろう③ ※JICA 研修員参加
3月15日	えいごカフェ	英国の文化を学びふれあおう

※上記国際交流員派遣の他、協会職員等を講師として派遣した。 計6回

- ・周望学舎「国際情報コース」 4月18日（月）
- ・副都心黒崎開発推進会議 6月7日（火）
- ・E S D推進いきいきシニア塾 6月13日（月）
- ・多文化共生人権講演会 11月21日（月）
- ・周望学舎「地域ふれあいコース」 11月24日（木）
- ・多文化共生ディスカッション 1月31日（火）

③ 国際理解教育の推進

異文化理解を推進する事業を実施した。

ア 「英語で語る自分の国」

海外出身者が自国の文化を紹介することで、海外の文化を生の声で聴き身近に感じてもらう機会と、グローバル化する現代に必要なとされる英語に親しむ機会を提供した。

	実施日	内 容	講 師	参加
①	5月14日	アイルランド	ライアン・キエロン	64人
②	7月16日	ロシア	キリル・バラショヴ	53人
③	9月24日	ベトナム	グエン・ティ・コック・マイ	64人
④	11月12日	英国とEU	ジェイソン・フェルナンデス	68人
⑤	2月19日	イタリア	ミケーレ・フォロナーロ	57人
⑥	3月5日	カナダ	カメロン・バーンズ	55人

※9月24日、11月12日は、ブックリサイクルを同時開催 来場者：356人

イ 気ままにセミナー（主催：八幡西生涯学習総合センター）

【はじめての国際交流】

開催日：9月3日・10月8日（土） 全2回
テーマ：第1回「あなたの言葉、外国人に通じますか？」
第2回「通訳トレーニング法から学ぶ！」
参加登録者：21人（事前申込制）

※ 講師として、協会職員その他、ママパパ日本語教室受講者（5名）、ALT・国際交流員（8名）等が参加して日本人受講者と会話し、外国人のエンパワメント支援の研修会も目的として実施した。

【地図の上で旅してみよう】

開催日：10月29日・11月5日・11月19日・12月3日・12月17日（土）
全5回
テーマ：第1回「ベトナムの旅」 ベトナム出身者 3名
第2回「フィリピンの旅」 フィリピン出身者 3名
第3回「インドネシアの旅」 インドネシア出身者 4名
第4回「イギリス南部の旅」 国際交流員 1名
第5回「イギリス北部の旅」 国際交流員 1名
参加登録者：20人（事前申込制）

※ 講師として、協会職員その他、ママパパ日本語教室受講者（10名）、国際交流員（1名）等が参加して講義・意見交換を行い、外国人のエンパワメント支援の派遣学習会も目的として実施した。

ウ インターンシップの受入れ

北九州市立大学3人、西南女学院大学3人 八幡特別支援学校1人
北九州商工会議所主催（九州国際大学1人、九州女子大学1人、西南女学院大学1人、北九州市立大学1人） 計5回/11人

(2) ホストファミリーの支援及び連携

国際交流や異文化体験を希望する家庭にホストファミリーボランティアとして登録してもらい、ホームビジットの実施や留学生と交流する機会の提供を行った。また、ホストファミリー同士の意見交換会やホストファミリー向けの異文化理解講座を実施し、情報交換やフォローアップを行った。

① 留学生にこにこ家族・ホームビジット

ア ホームビジット

JICA研修員を家庭に招き、交流を通じて相互理解と親睦を深めた。
実施日：10月 2日 参加外国人：2人 受入家庭：2家庭

イ 留学生にこここ家族

市内大学に通う留学生とホストファミリーとの半年、または1年にわたる交流を支援した。また、留学生やホストファミリー同士の交流を深める交流会やバスツアーを実施した。

参加留学生数：73人（春期35人、秋期38人）

受入家庭：のべ59家庭

対面式：春期 6月4日（土）・5日（日）

秋期 11月19日（土）・27日（日）

*春の交流会

開催日：6月25日（日）

フルーツ大福作り

参加留学生数：6人

参加ホストファミリー数：3家族（7人）

*バスツアー交流会

開催日：1月15日（日）

目的地：柳川こたつ舟下りと散策

参加学生数：24人

参加ホストファミリー数：15家族（29人）

ウ ホストファミリー意見交換会

プログラムに参加している家庭同士の情報交換や交流を深めるために意見交換会を実施した。

春季 開催日：6月4日（土）・5日（日）

開催場所：北九州国際交流協会 交流スペース

参加者数：ホストファミリー19家庭（35人）

秋季 開催日：11月19日（土）・27日（日）

開催場所：北九州国際交流協会 交流スペース

参加者数：ホストファミリー24家庭（42人）

エ 異文化理解講座

ホストファミリーだけでなく広く一般にも参加者を募集し、インドネシアの紹介やイスラム教について、また、イスラム教の食事制限やハラールフードに対応する料理の紹介などを行った。

「異文化理解講座～イスラムを知ろう～」

開催日：3月25日（土）

開催場所：北九州国際交流協会 交流スペース

講師：ディディット・ノヴィアント、ディアン・ノヴィアント、ハディ

参加者数：21名（うちホストファミリー4家庭）

(3) 留学生等の支援

① 留学生への情報提供

新しく北九州市に転入してきた留学生に対して、大学のオリエンテーション等で生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

② 留学生支援

ア 中古自転車の提供

北九州市建設局から提供を受けた中古自転車を修理再生後、各大学・専門学校の留学生担当課を通じて希望留学生に提供した。

提供台数：34台

イ 映画料金の割引

留学生は、北九州市内の映画館の窓口で学生証と在留カードを提示すれば、大学生料金1,500円が1,100円になる割引制度を映画興行組合の協力により継続実施した。

③ 関原北九州大連友好基金事業

北九州市と大連市との友好交流に熱い情熱を燃やし、交流の発展を願い続けた故関原一夫・貞子ご夫妻のご遺志により、関原北九州大連友好基金が設立された。

亡きご夫妻のご遺志に添い、大連市との幅広い交流に生かすため、特に若者の将来に期待し、下記の事業を行った。

ア 大連市留学生奨学金支給

大連市出身若しくは大連市内の大学及び専門学校を卒業した人で、北九州市内の大学、短大等に留学している3人に、月額2万円を支給した。

イ 大連市大学生奨学金支給

大連市内の大学の日本語学科に在学中の中国人学生で、日本語を学び、且つ優秀な学力を有する者3人に、月額500円を支給した。

④ 留学生日本語弁論大会

母国を離れ日本で暮らす留学生たちが、日本での様々な体験を通じて感じたこと、考えていることを日本語で発表する場を提供した。

日本人にとっても留学生の声に耳を傾けることで様々な価値観や日本の姿を見直すきっかけとなるよう、また、留学生の日本語の上達に資することから、将来、国境を越えた国際交流への一助とすべく本大会を開催した。

開催にあたり、八幡法人会、北九州小倉ライオンズクラブ、NPO 法人北九州市国際文化交流協会の協力を得て実施した。

開催日：12月18日（日）

発表者：10名（中国3名、韓国2名、ベトナム2名、バングラデシュ1名、ポーランド1名、ネパール1名）

※ 応募者は15名（一次審査で本選出場者を10名とした）

来場者：123名

(4) 青少年交流の促進事業

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進した。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を仁川国際交流財団と協働で実施した。本年度は、北九州市の青少年（高校生）が仁川市を訪問し、ホームステイ、伝統文化体験等の交流活動を行った。

開催期間：8月4日（木）～7日（日）

参加者数：北九州市青少年 10人

(5) 多文化共生啓発事業

地域における多文化共生を推進するため、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓発を行った。

① 多文化共生啓発

学習会やイベントを通じて多文化共生へ啓発や理解を深める事業を実施した。

ア 「多文化共生わいわい祭り」への出展、事業協力

開催日：11月3日（祝） 会場：北九州YMCA（小倉北区）

主催：多文化共生わいわい祭り実行委員会（北九州市、（公財）北九州YMCA、キーネット、（公財）北九州国際交流協会）

内容：多文化共生PR、世界の民族衣装体験

来場者数：264人（協会ブース来訪者のみ）

イ 「八幡イルミネーション点灯式」

八幡・国際通りを中心とする国際村交流会の構成団体等が実施する「八幡イルミネーション点灯式」開催に協力し、キーネット団体から出店を行うとともに、会場で協会事業のPRを行った。

開催日：11月11日（金） 会場：JICA九州 体育館

ウ 「市民ふれあいフェスティバル」への出展、事業協力

開催日：11月20日（日） 会場：ウェルとばた（戸畑区）

主催：市民ふれあいフェスティバル実行委員会、北九州市社会福祉協議会

内容：協会事業やキーネットおよびキーネット加盟団体のパネル展示や出店を行うとともに、実行委員のメンバーとして企画・実施に協力し、協会事業やキーネットについてのPRを行った。

来場者数：510人（協会ブース来訪者のみ）

エ 市民カレッジ「もっと身近に！国際交流とボランティア」

生涯学習総合センター事業の1コースのコーディネートを担当した。

開催日：全5回（1月7日（土）、14日（土）、21日（土）

2月4日（土）、2月18日（土）

会場：八幡西生涯学習総合センター 会議室

受講登録者数：23人

- 内 容：第1回 多文化共生ってなんだろう？&外国人インフォメーションセンターで働く人の声を聞いてみよう！
第2回 国際交流員から英国の紹介と多文化共生の話聞いてみよう！
第3回 「通訳ボランティア」「留学生ホストファミリーボランティア」から話を聞いてみよう！
第4回 JICA青年海外協力隊OB・OGから話を聞いてみよう！
第5回 日本語コーディネーター、日本語ボランティアの話聞いてみよう！

② 多文化共生の人材づくり（教育委員会からの受託事業）

教育委員会の委託を受け、ひとみらいプレイス関係団体と連携を図りながら、地域で暮らす日本人と外国人とが互いの違いを理解し双方の文化に触れながら、将来の多文化共生を担う人材育成を目指した事業を実施した。

ア キーネットパネル展

「北九州国際交流団体ネットワーク」加盟団体のうち、希望する団体に活動内容を紹介するパネルを作成してもらい展示した。

開催期間：10月19日～11月15日

場 所：ひとみらいプレイス通路 参加団体：20団体

イ 英語で語る自分の国「英国とEU」

ひとみらい交流ウィークに合わせ、北九州国際交流協会で活躍する国際交流員によるスピーチイベントを開催した。

開催日：11月12日（土）

参加者：68人（事前申し込み制）

ウ 国際交流まつり～世界のママの味～

ママパパ日本語教室参加者等の社会的な自立を支援し、かつ外国の文化について食を通じて理解してもらうためのイベントを「ひとみらい交流祭」期間中に実施した。

開催日：11月13日（日）

出品国：6カ国（13名） 来場者：560人

（フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、中国、韓国）

エ 英語で語る自分の国「英国」 ※中学生・高校生対象

中・高生が英語に親しみ、英語を通じて外国文化に触れる機会を提供した。英国の子どもが興味を持つ文化等を中心に、解かりやすい英語で国際交流員がスピーチを行った。

開催日：1月8日（日）

参加者：11人（事前申し込み制）

オ 「英語で楽しもう」

国際交流員やALTが講師となり、小学生を対象に英語に親しみ交流する講座を開催した。(事前申し込み制)

*第1回 英語でゲーム

開催日：3月4日(土) 参加者：30人(17人及び保護者13人)

*第2回 ソング&ダンス

開催日：3月11日(土) 参加者：37人(21人及び保護者16人)

(6) 市民ボランティアの育成

協会に登録したボランティアやグループの活動を支援し、その育成を図った。

① 協会ボランティア(登録数は2017年3月31日現在)

ア 行政通訳ボランティア(登録：102人)

区役所や学校、保健師訪問等、市の機関等での通訳を行う。

【言語別内訳(重複あり)：中国語37人、英語17人、韓国語14人、インドネシア語10人、タガログ語8人、ベトナム語5人、タイ語5人、ポルトガル語4人、スペイン語3人、フランス語2人、モンゴル語2人、ドイツ語1人】

イ 医療通訳スタッフ(登録：44人)

医療機関などでの通訳を行う。

【言語別内訳(重複あり)：中国語24人、英語15人、韓国語6人】

ウ 多言語ママパパサポーター(登録：22人)

子育て関連支援のため、医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住民宅等での通訳等の支援を行う。

【言語別内訳：中国語14人、英語4人、韓国語4人】

エ 災害時通訳サポーター(登録64人)

災害時、北九州市から依頼があった場合、災害対応業務の通訳や翻訳を行う。

【言語別内訳(重複あり)：中国語27人、英語15人、韓国語8人、インドネシア語4人、タガログ語4人、ポルトガル語2人、タイ語1人、スペイン語1人、ドイツ語1人、フランス語2人、ベトナム語1人】

オ 専門家相談通訳ボランティア(登録：5人)

専門家相談会での通訳を行う。

カ 中国帰国者交流支援ボランティア(登録：8人)

中国帰国者との交流会や支援事業の運営補助や通訳を行う。

キ ホストファミリーボランティア（登録：110家庭）
留学生やJICAの研修員などの外国人を自宅に招いたり、一緒に外出するなどの交流を行う。

ク にほんごひろばボランティア（登録1人：福岡教育大学）
「放課後にほんごひろば」や「夏休みにほんごひろば」に参加している外国人児童生徒及び帰国児童生徒に対して学習サポートを行う大学生ボランティア。

② ボランティア育成講座の実施

ア 行政通訳者スキルアップ研修

開催日：7月16日（土） 会場：八幡西生涯学習総合センター会議室
講師：北九州市立療育センター地域連携室長 横田信也氏、協会職員
内容：「北九州市における障害児の療育・教育・福祉支援について」
「傾聴の技術、模擬通訳練習」 受講者：21人

イ 多言語ママパパサポータースキルアップ講座

*第1回

開催日：10月1日（土） 会場：八幡西生涯学習総合センター会議室
講師：産業医科大学病院看護師 一枝あゆみ氏
内容：「身体組織と病気の基礎（病気、治療、検査、薬等について）」
受講者：17人

*第2回

開催日：3月25日（土） 会場：八幡西生涯学習総合センター会議室
講師：多文化共生センターきょうと
代表 重野亜久里氏、医療通訳コーディネーター・看護師 高嶋愛里氏
内容：「妊娠、出産、育児における社会制度と通訳支援」
受講者：18人

ウ 地域日本語教室ボランティアスキルアップ教室

開催日：7月9日（土）、11月21日（月）
講師：長崎外語大学特任講師 神吉宇一氏
国立国語研究所日本語教育研究領域准教授 野田尚史氏
受講者：7/9：22人、11/21：18人

エ 災害時通訳サポーターのフォローアップ（再掲）

日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象にフォローアップ研修を行った。

*第1回 開催日：11月19日（土） 受講者数：15人

*第2回 開催日：2月25日（土） 受講者数：25人

オ 専門家通訳フォローアップ研修

開催日：6月 4日（土）

受講者：11人（相談員等を含む）

(7) 外国人による地域づくり担い手育成事業 《新事業》

多文化共生の担い手となる外国人市民人材を発掘、育成するため地域連携コーディネーターを置き、外国人市民同士の共助支援や地域において活躍できる人材育成のプランづくりを行うためのヒアリングや交流会等を実施した。

また、様々な団体と協働して、ヒアリング等を通じて発掘した外国人人材のための研修会や派遣学習会を実施した。

① 多文化子育て共助プロジェクト（自治体国際化協会助成事業）

就労や子育てを経験した外国人市民によるニューカマーの外国人支援を目的に、行政やモデルケースとなる支援機関、団体へのヒアリングや視察、子育てを経験した外国人市民への聞き取り、座談会の実施等を通じて、共助を進めるキーパーソンを発掘し、その活躍の枠組みを整備するための調査を実施した。

ア ヒアリング調査

日頃から外国人支援に携わっている日本人や、子育て経験者または子育て中の外国人市民を中心にヒアリング（1回2時間程度）を行い、キーパーソンの発掘や外国人コミュニティに関する情報収集を行った。

・外国人支援者（日本語教室代表 他）・・・ 6人

・子育て経験者（子育て中含む）の外国人・・・ 32人

（出身国：中国6人、インドネシア5人、フィリピン4人、ベトナム4人、韓国2人、モンゴル2人、カナダ2人、フランス2人、ボリビア1人、タイ1人、インド1人、ペルー1人、台湾1人）

イ 多文化子育て座談会（子育て経験者・子育て中のお母さんたちの座談会）

ヒアリングをもとに、日本での出産や子育てを経験した外国人ママ達の中から多文化子育ての鍵となるキーパーソンをアジア地域を中心に選び、各区の保健師や多文化共生マネージャーをオブザーバーとして、各国と日本の違いや戸惑った経験、アドバイス等を自由に意見交換してもらう座談会を2回開催した。

***第1回**

開催日：12月17日（土）

会場：子育てふれあい交流プラザ わらべホール

参加者：8名 7カ国（インドネシア、フィリピン、韓国、モンゴル、中国、ボリビア、ベトナム）

オブザーバー：保健師1名、多文化共生マネージャー1名

*第2回

開催日：2月4日（土）

会場：子育てふれあい交流プラザ わらべホール

参加者：5名 4カ国（インドネシア、韓国、中国、ボリビア）

オブザーバー：保健師2名

ウ 日本人と外国人の子育て交流会

未就学児を持つ日本人と外国人の親子が集まり、第1部では親子でクリスマスブーツ作り、リトミックプログラム、日本語と英語の絵本の読み聞かせ等を楽しんだ。第2部では、子ども達が民族衣装での記念撮影や段ボール遊び、アニメ上映等を楽しんでいる間に、親同士は子育ての情報交換を目的とした「おしゃべりタイム」を楽しんだ。

開催日：12月17日（土）

参加者：97名

・外国人親子：16家族 7カ国（フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、中国、カナダ、モンゴル）

・日本人親子：8家族

エ 「外国人のママ・パパと支援者のための子育て支援ブック

～妊娠・出産・育児」の作成

ヒアリングから浮かび上がった様々な悩みや不安、困った出来事などの具体的エピソード等を参考にし、「妊娠・出産・育児」に関わる外国人当事者、家族、子育て支援者が必要とする情報を提供する冊子を多言語標記で作成した。

特に外国人当事者が妊娠直後から必要となる行政手続き等をイラストで分かりやすく標記したチャートと、当協会の外国人支援事業や関係機関に繋がる情報に関しては重要性が高いことから、日本語・英語・中国語・ベトナム語・タイ語で表記し、外国人当事者やその家族が極力自分自身の力で情報を取得できるように配慮した。

仕様：A4版、カラー、60ページ 作成部数：1,000部

内容：多文化子育て外国人紹介、子育て情報、外国人市民のための子育て応援チャート、「困った」「悩んだ」事例集、よくある相談Q&A 他

② 多文化共生の担い手のための研修会

調査や各方面との連携から人選した、多文化共生キーパーソンや外国人市民人材に対し、それぞれの個性を活かして社会参画するための研修を実施した。

ア 八幡西生涯学習総合センター 2回 13人

（気ままにセミナー「初めての国際交流」講座参加者との、やさしい日本語・やさしい英語での会話スタッフ）

イ 多文化子育て座談会 2回 13人

（座談会スピーカーとして）

ウ 多文化子育て交流会 1回 41人
(日本人家族・外国人家族の交流会参加者として)

合計：5回 67人

③ 多文化共生の担い手派遣学習会

コミュニケーション能力や個人の持つスキルが、日本人市民に対する多文化共生啓発に十分生かせると思われる外国人人材を講座やイベント等に派遣するトライアル事業を実施した。

ア 西部障害者福祉会館講座 1回 1人
(外国料理講座の講師として)

イ 八幡西生涯学習総合センター 3回 10人
(気ままにセミナー「地図の上で旅してみよう」のうち、ベトナム・フィリピン・インドネシアの回講師として)

ウ 国際交流まつり～世界のママの味～ 1回 13人
(各国料理の出展者として)

エ 多文化子育て交流会 1回 8人
(日本人家族と外国人家族のコミュニケーションを助ける通訳として)

オ 八幡西生涯学習総合センター 3回 9人
(市民カレッジ「国際交流とボランティア」講師として)

カ 戸畑区役所 1回 5名
(区役所職員のための「やさしい日本語」講座でのロールプレイ講師として)

合計：10回 46人

4 その他

(1) 広報活動

① 市政だより

北九州市が月2回発行する市公報「市政だより」に、協会が実施する事業やイベント情報等を掲載し、協会のPRに努めた。

掲載件数：72件

② テレビ・ラジオ・新聞・情報誌による報道

テレビ・ラジオ・新聞等から事業に関する取材を受け広報を行った。

取材及び広報件数 テレビ：6件、ラジオ：4件、新聞：11件、
情報誌：3件 合計：24件

- ③ 「北九州国際交流協会だより」の発行
年2回、賛助会員に送付するとともに、随時改訂を行って協会その他に配架し、協会の事業をPRした。

(2) 九州地区国際化協会連絡協議会協定による熊本地震への職員派遣

熊本県国際交流協会並びに熊本市国際交流財団の要請により職員を派遣し、避難所における外国人調査、情報収集と多言語化、避難所運營業務等にあたった。

4月21日～24日（4日間）：1名

5月 5日～ 6日（2日間）：2名

(3) 災害義援金等

キーネットと連携して募金箱を設置し、日本赤十字社を通じて、現地での救護、復興活動を支援することとした。

【熊本地震災害救援金】

設置期間：平成28年4月20日～平成29年3月31日 81,186円

2016年度事業報告の附属明細書

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

なし

2016 年度

決 算 報 告 書

自 2016 年 4 月 1 日

至 2017 年 3 月 31 日

公益財団法人北九州国際交流協会

2016年度 貸借対照表

2017年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,633,801	18,110,325	1,523,476
未収金	2,871,266	2,965,744	△ 94,478
流動資産合計	22,505,067	21,076,069	1,428,998
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	299,637,500	362,500
定期預金	0	362,500	△ 362,500
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	52,126,862	52,196,504	△ 69,642
特定資産合計	52,126,862	52,196,504	△ 69,642
(3) その他固定資産			
車両運搬具	11,210	246,508	△ 235,298
什器備品	611,017	798,694	△ 187,677
リサイクル預託金	8,830	8,830	0
投資有価証券	6,356,990	808,807	5,548,183
長期性預金	548,000	648,000	△ 100,000
ソフトウェア	0	502,740	△ 502,740
その他固定資産合計	7,536,047	3,013,579	4,522,468
固定資産合計	359,662,909	355,210,083	4,452,826
資産合計	382,167,976	376,286,152	5,881,824
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,475,314	3,426,963	2,048,351
前受金	228,000	286,000	△ 58,000
預り金	611,646	458,403	153,243
未払消費税等	0	1,086,000	△ 1,086,000
流動負債合計	6,314,960	5,257,366	1,057,594
負債合計	6,314,960	5,257,366	1,057,594
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	152,126,862	152,196,504	△ 69,642
指定正味財産合計	152,126,862	152,196,504	△ 69,642
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(52,126,862)	(52,196,504)	(△ 69,642)
2. 一般正味財産	223,726,154	218,832,282	4,893,872
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	375,853,016	371,028,786	4,824,230
負債及び正味財産合計	382,167,976	376,286,152	5,881,824

2016年度 正味財産増減計算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[3,602,567]	[6,059,368]	[△ 2,456,801]
基本財産受取利息	3,602,567	6,059,368	△ 2,456,801
特定資産運用益	[900,547]	[900,566]	[△ 19]
特定資産受取利息	900,547	900,566	△ 19
受取会費	[607,000]	[601,000]	[6,000]
受取賛助会費	607,000	601,000	6,000
事業収益	[2,871,266]	[4,967,464]	[△ 2,096,198]
医療通訳派遣事業収益	0	10,800	△ 10,800
中国帰国者支援受託事業収益	1,237,399	2,137,687	△ 900,288
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	809,352	783,846	25,506
外国人市民の防災支援受託事業収益	338,515	383,745	△ 45,230
多文化共生の担い手づくり事業収益	486,000	451,386	34,614
多言語ママパパサポート受託事業収益	0	1,200,000	△ 1,200,000
受取補助金等	[65,038,222]	[49,776,280]	[15,261,942]
受取北九州市補助金	62,636,129	49,441,000	13,195,129
受取自治体国際化協会助成金	1,999,633	0	1,999,633
受取その他の助成金	402,460	335,280	67,180
受取寄附金	[51,468]	[153,412]	[△ 101,944]
受取寄附金	51,468	153,412	△ 101,944
雑収益	[1,393,735]	[704,071]	[689,664]
受取利息	397	4,205	△ 3,808
その他雑収益	1,393,338	699,866	693,472
経常収益計	74,464,805	63,162,161	11,302,644
(2) 経常費用			
事業費	[72,970,817]	[62,074,206]	[10,896,611]
役員報酬	5,882,400	5,859,600	22,800
給料手当	34,029,392	26,979,162	7,050,230
臨時雇賃金	6,656,513	5,793,233	863,280
福利厚生費	8,161,631	6,741,178	1,420,453
材料費	54,373	76,482	△ 22,109
奨学金	1,021,553	1,068,344	△ 46,791
旅費交通費	1,927,530	1,683,482	244,048
通信運搬費	661,201	721,753	△ 60,552
減価償却費	422,975	294,085	128,890
消耗什器備品費	0	115,236	△ 115,236
消耗品費	844,626	554,645	289,981
車両費	202,359	215,561	△ 13,202
印刷製本費	1,868,033	301,112	1,566,921
光熱水費	1,862,875	1,832,755	30,120
リース料	150,822	150,822	0
使用料賃借料	4,052,276	3,762,193	290,083
災害保険料	135,530	123,464	12,066
報償費	1,623,921	1,596,273	27,648
租税公課	12,250	1,044,538	△ 1,032,288
支払負担金	250,000	250,000	0
委託費	2,425,690	2,019,502	406,188
図書費	119,836	124,153	△ 4,317
食糧費	270,176	465,539	△ 195,363
雑費	334,855	301,094	33,761
管理費	[2,630,367]	[2,721,652]	[△ 91,285]
役員報酬	369,600	403,400	△ 33,800
給料手当	383,940	376,569	7,371
福利厚生費	107,503	102,570	4,933
会議費	3,390	32,198	△ 28,808
旅費交通費	2,100	4,100	△ 2,000
通信運搬費	6,305	12,732	△ 6,427
減価償却費	0	317,520	△ 317,520
消耗品費	1,506	1,335	171
印刷製本費	2,786	2,268	518
光熱水費	95,289	93,327	1,962
リース料	7,938	7,938	0
使用料賃借料	59,464	58,900	564
租税公課	0	52,262	△ 52,262
支払負担金	100,000	100,000	0
委託費	1,301,400	977,400	324,000
交際費	67,746	60,323	7,423
雑費	121,400	118,810	2,590
経常費用計	75,601,184	64,795,858	10,805,326
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,136,379	△ 1,633,697	497,318
基本財産評価損益等	1,301,300	0	1,301,300
投資有価証券評価損益等	4,990,949	0	4,990,949
評価損益等計	6,292,249	0	6,292,249
当期経常増減額	5,155,870	△ 1,633,697	6,789,567
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄附金	[69,642]	[69,607]	[35]
受取寄附金振替額	69,642	69,607	35
過年度損益修正益	[171,100]	[0]	[171,100]
過年度損益修正益	171,100	0	171,100
経常外収益計	240,742	69,607	171,135
(2) 経常外費用			
除却損失	[502,740]	[13,868]	[488,872]
什器備品除却損	0	13,868	△ 13,868
ソフトウェア除却損	502,740	0	502,740
指定正味財産への修正振替額	[0]	[52,266,111]	[△ 52,266,111]
指定正味財産への修正振替額	0	52,266,111	△ 52,266,111
経常外費用計	502,740	52,279,979	△ 51,777,239
当期経常外増減額	△ 261,998	△ 52,210,372	51,948,374
当期一般正味財産増減額	4,893,872	△ 53,844,069	58,737,941
一般正味財産期首残高	218,832,282	272,676,351	△ 53,844,069
一般正味財産期末残高	223,726,154	218,832,282	4,893,872
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産からの修正振替額	[0]	[52,266,111]	[△ 52,266,111]
一般正味財産からの修正振替額	0	52,266,111	△ 52,266,111
一般正味財産への振替額	[△ 69,642]	[△ 69,607]	[△ 35]
一般正味財産への振替額	△ 69,642	△ 69,607	△ 35
当期指定正味財産増減額	△ 69,642	52,196,504	△ 52,266,146
指定正味財産期首残高	152,196,504	100,000,000	52,196,504
指定正味財産期末残高	152,126,862	152,196,504	△ 69,642
III 正味財産期末残高	375,853,016	371,028,786	4,824,230

2016年度 正味財産増減計算書内訳表
2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	多文化共生 推進事業	関原基金 事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
基本財産運用益	0	1,445,145	1,556,652	3,001,797	600,770	0	3,602,567
基本財産受取利息	0	1,445,145	1,556,652	3,001,797	600,770		3,602,567
特定資産運用益	900,547	0	0	900,547	0	0	900,547
特定資産受取利息	900,547	0	0	900,547	0		900,547
受取会費	0	0	303,500	303,500	303,500	0	607,000
受取賛助会費	0	0	303,500	303,500	303,500		607,000
事業収益	2,871,266	0	0	2,871,266	0	0	2,871,266
中国帰国者支援受託事業収益	1,237,399	0	0	1,237,399	0		1,237,399
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	809,352	0	0	809,352	0		809,352
外国人市民の防災支援受託事業収益	338,515	0	0	338,515	0		338,515
多文化共生の担い手づくり事業収益	486,000	0	0	486,000	0		486,000
受取補助金等	63,159,138	0	0	63,159,138	1,879,084	0	65,038,222
受取北九州市補助金	60,757,045	0	0	60,757,045	1,879,084		62,636,129
受取自治体国際化協会助成金	1,999,633			1,999,633			1,999,633
受取その他の助成金	402,460	0	0	402,460	0		402,460
受取寄附金	0	0	51,468	51,468	0	0	51,468
受取寄附金	0	0	51,468	51,468	0	0	51,468
雑収益	1,393,724	11	0	1,393,735	0	0	1,393,735
受取利息	386	11	0	397	0		397
その他雑収益	1,393,338	0	0	1,393,338	0		1,393,338
経常収益計	68,324,675	1,445,156	1,911,620	71,681,451	2,783,354	0	74,464,805
(2)経常費用							0
事業費	71,483,686	1,487,131	0	72,970,817	0	0	72,970,817
役員報酬	5,882,400	0	0	5,882,400			5,882,400
給料手当	33,750,332	279,060	0	34,029,392			34,029,392
臨時雇賃金	6,656,513	0	0	6,656,513			6,656,513
福利厚生費	8,096,721	64,910	0	8,161,631			8,161,631
材料費	54,373	0	0	54,373			54,373
奨学金	0	1,021,553	0	1,021,553			1,021,553
旅費交通費	1,849,170	78,360	0	1,927,530			1,927,530
通信運搬費	651,657	9,544	0	661,201			661,201
減価償却費	422,975	0	0	422,975			422,975
消耗品費	844,626	0	0	844,626			844,626
車両費	202,359	0	0	202,359			202,359
印刷製本費	1,868,033	0	0	1,868,033			1,868,033
光熱水費	1,862,875	0	0	1,862,875			1,862,875
リース料	150,822	0	0	150,822			150,822
使用料賃借料	4,052,276	0	0	4,052,276			4,052,276
災害保険料	129,730	5,800	0	135,530			135,530
報償費	1,607,357	16,564	0	1,623,921			1,623,921
租税公課	12,250	0	0	12,250			12,250
支払負担金	250,000	0	0	250,000			250,000
委託費	2,425,690	0	0	2,425,690			2,425,690
図書費	119,836	0	0	119,836			119,836
食糧費	260,348	9,828	0	270,176			270,176
雑費	333,343	1,512	0	334,855			334,855
管理費					2,630,367	0	2,630,367
役員報酬					369,600		369,600
給与手当					383,940		383,940
福利厚生費					107,503		107,503
会議費					3,390		3,390
旅費交通費					2,100		2,100
通信運搬費					6,305		6,305
消耗品費					1,506		1,506
印刷製本費					2,786		2,786
光熱水費					95,289		95,289
リース料					7,938		7,938
使用料賃借料					59,464		59,464
支払負担金					100,000		100,000
委託費					1,301,400		1,301,400
交際費					67,746		67,746
雑費					121,400		121,400
経常費用計	71,483,686	1,487,131	0	72,970,817	2,630,367	0	75,601,184

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,159,011	△ 41,975	1,911,620	△ 1,289,366	152,987		△ 1,136,379
基本財産評価損益等	1,301,300	0	0	1,301,300	0		1,301,300
投資有価証券評価損益等	△ 676,500	5,667,449	0	4,990,949	0		4,990,949
評価損益等計	624,800	5,667,449	0	6,292,249	0		6,292,249
当期経常増減額	△ 2,534,211	5,625,474	1,911,620	5,002,883	152,987	0	5,155,870
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
受取寄附金	69,642	0	0	69,642	0	0	69,642
受取寄附金振替額	69,642	0	0	69,642	0	0	69,642
過年度損益修正益	171,100	0	0	171,100			171,100
過年度損益修正益	171,100	0	0	171,100			171,100
経常外収益計	240,742	0	0	240,742	0	0	240,742
(2) 経常外費用							
除却損失	0	0	0	0	502,740	0	502,740
ソフトウェア除却損	0	0	0	0	502,740	0	502,740
経常外費用計	0	0	0	0	502,740	0	502,740
当期経常外増減額	240,742	0	0	240,742	△ 502,740	0	△ 261,998
他会計振替額	△ 400,000	400,000		0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,693,469	6,025,474	1,911,620	5,243,625	△ 349,753	0	4,893,872
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	218,832,282
一般正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	223,726,154
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	△ 69,642	0	0	△ 69,642	0	0	△ 69,642
一般正味財産への振替額	△ 69,642	0	0	△ 69,642	0	0	△ 69,642
当期指定正味財産増減額	△ 69,642	0	0	△ 69,642	0	0	△ 69,642
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	152,196,504
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	152,126,862
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	375,853,016

2016年度附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載されているので内容の記載を省略する。

2 引当金の明細

該当なし。

財 産 目 録
2017年3月31日現在

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	123,328
	預金	普通預金	運転資金として	
		福岡銀行八幡支店		670,930
		西日本シティ銀行八幡駅前支店		1,594,503
		西日本シティ銀行八幡支店		275,730
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		16,490,150
		北九州銀行八幡支店		1,000
		佐賀銀行八幡支店		1,000
		福岡中央銀行黒崎支店		1,000
		郵公振替貯金		13,660
		定期預金		
		西日本シティ銀行八幡駅前支店		462,500
	未収金	北九州市	事業に供する未収分	2,871,266
流動資産合計				22,505,067
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	神奈川県第31回20年公募公債	定款で定めた基本財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運用に充てるための資産である。 公益目的保有財産 33.3% 33,300,000円 収益事業・管理活動財産 66.7% 66,700,000円	100,000,000
		第152回利付国債	定款で定めた基本財産であり、公益目的保有財産として	50,000,000
		福岡市平成28年度第6回公募公債	運用益を公益目的事業に充てることとしている。	100,000,000
		第160回利付国債		50,000,000
特定資産	留学生等支援基金	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた用途	
	積立資産	福岡銀行八幡支店	(留学生に対する支援)を目的に積み立てている資産である。	9,273,218
		西日本シティ銀行八幡支店		7,283,593
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		7,570,051
		佐賀銀行八幡支店		9,500,000
		福岡中央銀行黒崎支店		9,500,000
		北九州銀行八幡支店		9,000,000
その他固定資産	車両運搬具	スバル軽自動車 2台	公益目的保有財産である。	11,210
	什器備品	外国人相談メッセージボード5角形	公益目的保有財産である。	1
		イーシェアリングBOX	公益目的保有財産である。	110,076
		Fortigate60Dバンド版	公益目的保有財産である。	338,400
		ノートパソコン2台	公益目的保有財産である。	162,540
	リサイクル預託金	リサイクル料金	公益目的保有財産である。	8,830
	投資有価証券	神奈川県第31回20年公募公債他	打歩発行により取得した金利未償却残高及び期末時点における時価評価損益である。	6,356,990
	長期性預金	定期預金		
		福岡ひびき信用金庫本店営業部	貸借対照表日の翌日から起算して1年以上経過した日に満期が到来する定期預金である。	548,000
固定資産合計				359,662,909
資産合計				382,167,976
(流動負債)	未払金	北九州市他	事業に供する経費未払分	5,475,314
	前受金	賛助会費	平成29年度 個人会員74口、団体会員4口	228,000
	預り金	社会保険料他2件		611,646
流動負債合計				6,314,960
(固定負債)				0
固定負債合計				0
負債合計				6,314,960
正味財産合計				375,853,016

2016年度 財務諸表に対する注記

この財務諸表は、公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）及び同実務指針（平成28年3月22日 平成28年12月22日改正 日本公認会計士協会）に準拠して作成している。なお、会計区分は移行認定に係る行政庁からの決定処分にもとづいている。

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券のうち時価のあるものについては、期末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価は移動平均法により算定）により行っている。なお、その他有価証券に係る評価損益は、当年度における損益として処理している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 会計方針の変更

当年度期中において、これまで満期保有目的の債券に分類された債券につき、その一部を償還期限前に売却した。このため、満期保有目的の債券に分類された残りすべての債券について、保有目的の変更があったものとして、その他有価証券に振り替えている。

よって、当年度末日において保有する有価証券のうち、市場価格のあるものについては、時価をもって貸借対照表価額としている。

なお、当該変更に伴う影響は、4,990,949円であり、正味財産増減計算書における「投資有価証券評価損益等」として表示している。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	299,637,500	362,500	0	300,000,000
定期預金	362,500	0	362,500	0
小計	300,000,000	362,500	362,500	300,000,000
特定資産				
※1	52,196,504	0	69,642	52,126,862
小計	52,196,504	0	69,642	52,126,862
合計	352,196,504	362,500	432,142	352,126,862

※1 留学生等支援基金積立資産

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	(100,000,000)	(200,000,000)	—
小計	300,000,000	(100,000,000)	(200,000,000)	—
特定資産				
※1	52,126,862	(52,126,862)	(0)	(0)
小計	52,126,862	(52,126,862)	(0)	(0)
合計	352,126,862	(152,126,862)	(200,000,000)	(0)

※1 同上

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
車両運搬具	2,097,885	2,086,675	11,210
什器備品	1,467,108	856,091	611,017
合計	3,564,993	2,942,766	622,227

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
事業補助金	北九州市	0	62,636,129	62,636,129	0
※1	※1	0	1,999,633	1,999,633	0
※2	※2	0	178,000	178,000	0
※3	※3	0	165,000	165,000	0
※4	※4	0	59,460	59,460	0
合計		0	65,038,222	65,038,222	0

※1 多文化共生のまちづくり促進事業 一般財団法人自治体国際化協会

※2 多文化共生研修助成他 一般財団法人自治体国際化協会

※3 日本語おしゃべり発表会他 公益財団法人西日本国際財団

※4 研修助成 地域国際化協会連絡協議会

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常外収益への振替額	
事業実施による指定解除額	69,642
合計	69,642

8 その他

(金融商品の状況に関する注記)

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一定部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク及び市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

①. 資産運用規程にもとづく取引

金融商品の取扱は、当法人の資産運用規程にもとづき行う。

②. 信用リスクの管理

発行体の状況を調査するなどして、信用リスクが極めて低いと見込まれる債券のみを取得することとしている。

③. 市場リスクの管理

市場リスクを有する有価証券取引は、行なわない方針である。

監查報告書

平成 29 年 5 月 23 日

公益財団法人北九州国際交流協会
理事長 高城 壽雄 様

公益財団法人北九州国際交流協会

監事 有田 徹也



監事 小田 真由美



監査報告書

定款第25条の規定により、公益財団法人北九州国際交流協会の平成28年度における業務について監査を実施したので、その方法及び結果を下記のとおり報告します。

記

1 監査年月日

平成 29 年 5 月 23 日 (火)

2 監査対象期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

3 監査の方法及び内容

監査では、理事及び関係職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め重要な関係書類などを閲覧し、業務及び財産の状況を調査した。

以上の方法に基づき、当該監査対象期間にかかる事業報告及びその附属明細書について検討した。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該監査対象期間にかかる計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等について検討した。

4 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していることを認める。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。